

## サンタフェ

2-5人 アラン・ムーン作

### 概要

サンタフェは、アメリカ西部の鉄道網拡張がテーマのゲームです

### 内容物

アメリカ西部が描かれたボード

都市カード 66枚

ダブルターンカード 9枚

分岐カード 10枚

技術者カード 5枚

線路タイル 128個

プラスチックのチップ 60枚

(銅色が\$1、銀色が\$5、金色が\$10)

ファーストプレイヤーを示す列車コマ 1個

ルールブック

### ゲームの準備

得点を記録するプレイヤーを一人決めます。そのプレイヤーは紙とペンを用意します。加えてそのプレイヤーはお金のチップを管理します。各プレイヤーは\$2を受け取ります。

線路タイルを色毎に分けます。線路の枚数は青が32(サンタフェ鉄道)、白が30(サザンパシフィック鉄道)、緑が25(グレートノーザン鉄道)、赤が24(ユニオンパシフィック鉄道)、黄色が17(カンザスパシフィック鉄道)です。

技術者カード5枚を箱の中に戻します(これらは基本ゲームでは使いません)。

得点記録係は都市カードをよく混ぜ、各プレイヤーに4枚ずつ配ります。残ったカードは山札にしてボードの近くに置きます。ダブルターンカードを準備します。

2人プレイの場合は3枚、3人なら5枚、4人なら7枚、5人なら9枚のダブルタ

ーンカードを使います。得点記録係は各プレイヤーにダブルターンカード1枚を配り、残ったものはボードの近くに置きます。分岐カードを鉄道会社ごとに分け、表向きでボードの近くに置きます。

もっとも若いプレイヤーが最初のラウンドのファーストプレイヤーとなり、列車コマを受け取ります。

### ゲームの手順

ゲームは複数ラウンドからなり、各ラウンドは以下の順番で行います。

- ① 各プレイヤーは手札からカードを1枚選んでテーブルに伏せて置きます。その後、伏せたカードを同時に表向けます。最初のラウンドに限り、都市カードを出さなければなりません。
- ② 1回目の線路敷設ターンを行います。ファーストプレイヤーから時計回り順で、順番に線路タイルを1つ置きます。
- ③ 2回目の線路敷設ターンを行います。ファーストプレイヤーから時計回り順で、順番に2つ目の線路タイルを置きます。
- ④ ファーストプレイヤーから時計回り順で、各プレイヤーは手札が5枚になるまでカードを引きます。
- ⑤ ファーストプレイヤーは列車コマを左隣のプレイヤーに渡し、そのプレイヤーが次のファーストプレイヤーになります。

### 都市カード

都市カードは全部で66枚あります。価値2の都市3箇所と価値3の都市7箇所に対するカードは各1枚あります。価値4の都市5箇所、価値5の都市7箇所、価値6の都市9箇所と価値7の都市7箇所に対するカードは各2枚あります。

一度プレイされた都市カードは、残りの間プレイヤーの前に表向きに置いておきます。各カードはゲーム終了時に、都市の価値×その都市に接続している鉄道会社数の得点になります。例えばロサンゼルス(Los Angeles)に接続している鉄道会社が2社だった場合、ロサンゼルスの都市カードの得点は14点になります。

## ダブルターンカード

プレイヤーがダブルターンカードをプレイしたとき、そのプレイヤーは以下の恩恵を受けます。

- ① そのラウンドの1回目と2回目両方の線路敷設ターンで線路タイルを2つ置くことができます。この際、1つの路線を2回延ばすこともできますし、2つの路線を1回ずつでも構いません。
- ② このラウンドに受け取るボーナスの得点が2倍になります。
- ③ 2回目の線路敷設ターンの開始時に、手札を交換できます。そのプレイヤーは手札から好きな枚数の都市カードを選んで捨て、それと同じ枚数のカードを山札から引きます。捨てたカードはゲームから取り除かれます。

## 分岐カード

分岐カードは全部で10枚あり、各鉄道会社に2枚あります。

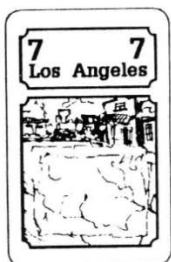
分岐カードを引く際、プレイヤーは\$1を支払う必要があります。

プレイヤーが手札に1度に持てる分岐カードは1枚までです。プレイヤーは、分岐カードを引いた次のラウンドで必ずそれを使わなければなりません。

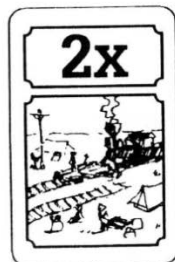
分岐カードは必ず他のカードと一緒にプレイします。つまり、都市カードと分岐カードのセット、またはダブルターンカードと分岐カードのセットです。

分岐カードをプレイしたとき、そのプレイヤーは新たな路線を、その鉄道会社が接続している任意の都市から延ばすことができます。

分岐したあと、その鉄道を延ばすときは元の路線を延ばすこともできますし、分岐した路線を延ばすこともできます。



都市カード



ダブルターンカード



分岐カード

## カードをプレイすること、捨てること、引くこと

カードをプレイするとき、プレイヤーには以下の選択肢があります。

- ① 都市カードをプレイする
- ② ダブルターンカードをプレイする
- ③ 都市カードと分岐カードをプレイする
- ④ ダブルターンカードと分岐カードをプレイする

カードをプレイしたあと、プレイヤーは以下の行動をします

- ① 都市カードはゲーム終了までプレイヤーの前に表向きに置かれます
- ② ダブルターンカードは2回目の線路敷設ターン終了後に、表向きのダブルターンカードの山に置きます。プレイヤーは再びこのカードを引くことができます。
- ③ 分岐カードは1回目か2回目の線路敷設ターンのいずれかで使われたあと、捨て札としてゲームから取り除かれます。もしプレイヤーが分岐カードを使わなかった場合でも同様に、2回目の線路敷設ターン終了後に捨てなければなりません。ただし、分岐カードをプレイしたとしても、路線を分岐させる必要はありません。

プレイヤーがカードを引くとき、以下の選択肢があります。

- ① 都市カードの山札からカードを1枚引くことができます。引く前に表を確認することはできません。山札のカードがなくなった場合、これ以降都市カードは引けません。
- ② 残っていれば、ダブルターンカードを引くことができます。
- ③ 残っていれば、\$1支払って分岐カードを引くことができます。
- ④ そのラウンドにプレイしたカードの種類によらず、どの種類のカードでも引くことができます。例えば、都市カードをプレイしたラウンドにダブルターンカードを引くことができます。
- ⑤ 分岐カードをプレイしたとき、すなわち2枚のカードをプレイしたあと、手札が5枚になるように2枚のカードを引くことができます。このときに引く2枚の組み合わせは次の通りです。都市カード2枚、ダブルターンカード2枚、都市カード1枚とダブルターンカード1枚、都市カード1枚と分岐カー

ド1枚(\$1支払います)、またはダブルターンカード1枚と分岐カード1枚(\$1支払います)。

- ⑥ ゲーム終了間近になると、都市カードの山札がなくなりダブルターンカードも分岐カードも残っておらず、引けるカードがなくてカードを引けないことも起こりえます。

### **線路敷設**

各ターン、プレイヤーは5種類の鉄道会社のうち1つの線路タイルを置くことができます。置ける線路がある限り、必ず線路は置かなければなりません。

各鉄道会社の最初の線路タイルは、その鉄道会社の始発の都市に接続するように置かなければなりません。各鉄道会社の始発の都市は、グレートノーザン鉄道はミルウォーキー (Milwaukee)、サンタフェ鉄道とユニオンパシフィック鉄道はシカゴ (Chicago)、カンザスパシフィック鉄道はカンザスシティ (Kansas City)、サザンパシフィック鉄道はニューオーリンズ (New Orleans) です。

各線路タイルはすでに置かれている路線を伸ばすように置かなければなりません。唯一の例外は、プレイヤーが分岐カードをプレイしたときで、その場合、その鉄道会社が接続している都市や始発の都市から新しい路線を分岐させることができます。

分岐したあとは、元の路線でも分岐した路線でも伸ばすようにタイルを置くことができます。各鉄道会社は最大3本の路線(元の路線1本と枝線2本)に分かれます。

1つの鉄道会社が2つの都市間で線路を置き始めたら、他の鉄道会社は同じ区間の反対側から線路を置くことはできません。もちろん、ボード上に都市間の線が2本描かれている場合、2つめの鉄道会社は空いている方の路線に線路を置くことができます。

都市間に線が2本描かれている区間は、1つの鉄道会社が両方の路線に線路を置くことはできません。

1つの鉄道会社は同じ都市に何度でも接続できますが、ゲーム終了時の都市カードの得点計算時、それは1回だけ(1種類の鉄道会社として)カウントします。

線路が行き止まりになるような線路の置き方は可能です。この場合、この鉄道会社が線路を延ばす唯一の方法は分岐を新たに始めることです。最初の路線とすべての枝線が行き止まりになった場合、使用されなかった線路タイルは使えなくなります。

### **ボーナス**

都市ボーナス - ボードに描かれた都市に最初に接続したプレイヤーは\$2を獲得します。2番目以降に接続したプレイヤーはなにも獲得しません。

鉄道会社のスペシャルボーナス - 5つの鉄道会社に対し特定の都市が色付きの四角で示されています。鉄道会社に対応する都市に接続したプレイヤーは\$4を獲得します。このボーナスは都市ボーナスとは別に獲得でき、同時に発生します。例: サンタフェ鉄道をヒューストン (Houston) に接続し、他の鉄道会社が接続していない場合、接続したプレイヤーは\$6を獲得します。

プレイヤーがそのラウンドにダブルターンカードを使っている場合、これらのボーナスは2倍になります。

### **得点計算と勝敗判定**

以下のいずれかが起きたときゲームは終了します。

- ① 5つの鉄道会社のすべての線路タイルが置かれたとき
- ② プレイヤーが線路タイルを置けなくなったとき。これは他のプレイヤーが分岐カードを持っており新たな分岐を作れるとしても関係ありません。

得点は以下のように集計します。

- ① \$1は1点になります。
- ② 各都市カードは、カードに書かれている価値×その都市に接続している鉄道会社の数の得点になります。

もっとも得点が高いプレイヤーが勝利します。2人以上が同点トップの場合、7の価値の都市カードを多く出しているプレイヤーが勝利します。

## アドバンスゲーム

ゲーム開始時、各プレイヤーは\$2ではなく\$5を受け取ります。

分岐カードを引くときは\$1ではなく\$2を支払います。

線路を置くとき、地形が影響します。暗い茶色の線は山の路線を示します。

- ① 川をまたぐように線路を置くときは\$1を支払います。
- ② 山の路線（茶色の線）に線路を置くときは\$1を支払います。
- ③ 川をまたぐ山の路線に線路を置くときは\$2を支払います。

技術者カードを使います。ゲーム開始時、技術者カードを他のカードの近くに表向きに置きます。プレイヤー1人が使える技術者カードは1枚だけです。

ゲーム開始前、プレイヤーは技術者カードを\$4で買うことができます。開始時にエンジニアカードを買わなかったプレイヤーは、ゲーム中、他のカードを引く代わりに技術者カードを引くことができます。この場合無料で獲得できますが、そのプレイヤーの手札は残りのゲームの間4枚になります。技術者カードを持っているプレイヤーは、それを自分の前に表向きに置いておきます。

技術者カードを持っているプレイヤーは、川をまたぐ線路（川をまたぐ山の線路を含みます）を無料で引くことができます。

線路敷設ターンに線路を置く代わりにパスすることができます。1回の線路敷設ターンにすべてのプレイヤーがパスした場合、直ちにゲームは終了します。

## 選択ルール

カードを引いた後、列車コマを渡す前に以下のステップを加えます。

ファーストプレイヤーから時計回りの順番で、プレイヤーは\$1を支払って線路タイルを1つだけ購入できます。

購入したタイルは、そのプレイヤーの手元に置いておきます。手元に置ける線路タイルの数と種類に制限はありません。

プレイヤーに購入されていない線路タイルがすべて置かれたあと、購入したタイルを通常ルールと同様に置くことができますが、購入したタイルをプレイする必要はありません。